

⑥ 大豊産業 株式会社 (香川県高松市)

～「人づくり」を通じて、全社員の物心両面の
幸福を目指して社会に貢献～

特・筆・す・べ・き・経・営・の・ポ・イ・ン・ト

- フィロソフィー手帳を通じて、全社員に人間性を重視した経営理念の浸透を図る！
- 社長と社員の活発なコミュニケーションが、大家族主義の企業風土を構築！
- JICAのボランティア制度を活用、人間性を重視したグローバル人材の育成！

社内の様々な取り組みを通じて
全社員に経営理念を浸透！

人事倒産の危機をきっかけに、企業はそこで働く全従業員の人間性が最も大切だということを感じ、企業の存在意義を「人づくり」であると乾社長。人づくりを通じて全従業員物心両面の幸福を追求することを経営の究極の目的と位置づけ、経営理念を策定した。

また、全社員がベクトルを合わせ、会社を正しい方向に運営していくために、経営理念浸透のツールとして「フィロソフィー手帳」を策定するとともに、理念を具現化した2枚折りの説明書を常に全社員が携帯しており、これをベースに日々の業務の中で社員一人ひとりが正しい判断ができるよう仕組みを構築している。その他にも

毎朝の清掃の徹底、朝礼での唱和や年2回の勉強会を行い、日々、理念の浸透に取り組む。

「心」をベースに経営を実践！
大家族主義の風土を構築

フィロソフィーの中で原点ともいえる「心をベースに経営をする」、「ガラス張りの経営」、「仲間のために尽くそう」、「謙虚・感謝・反省・素直」を重視し、普段から社長と社員とのコミュニケーションが図られている。

実際には、賞与支給の際には、社長メッセージとして社員への感謝の気持ちを表すメッセージを送り、多くの従業員から心温まるお礼のメッセージが届くなど、経営トップと社員が心と心を通わせる機会が多くなっている。

JICA活用で人材育成！
ビジネスに必要な人間性を養う

会社の将来を考えると四国の外へと取引先を広げていくことが不可欠であり、そのためにはグローバルな感性をもった人材の確保が必要と考え、当社では、JICAの民間連携ボランティア制度を活用して若手社員を積極的に海外に派遣している。

日本とは異なる異国の商習慣・文化・歴史を学べば視野を広げる機会となり、「外」の世界に触れる経験がビジネスに必要な人間性が養われ、グローバル人材の育成につながる。乾社長は、「時間やコストはかかるが、真に優秀な人材が育てば将来にわたって企業を成長させてくれる」と社員の成長に大きな期待を寄せる。



代表の乾社長と社員皆さんの集合写真



社員さんによる毎朝のトイレ清掃の様子



第3回表彰式における社員スピーチの様子



第3回表彰式における記念撮影の様子

会社概要

- ・法人名：大豊産業 株式会社
- ・代表者：乾 篤之 代表取締役社長
- ・所在地：香川県高松市屋島西町1902番地1
- ・設立年：1949年
- ・事業内容：新エネルギー、省力化、インフラ整備関連
- ・資本金：8,000万円
- ・従業員数：169名
- ・ホームページ：http://www.taihos.co.jp